

ささりんどう



学校教育目標

感動し 共に喜びあえる児童の育成

児童数
男子 157名
女子 160名
合計 317名

校章の笹竜胆（ささりんどう）は、箕田源氏の旗印です

鴻巣市立箕田小学校 学校がよりNo.13 令和3年 3月1日



不易流行（ふえきりゅうこう）

校長 齋地 満

肌寒さも残る中、やわらかな陽ざしに春の訪れを感じるようになりました。令和2年度もいよいよ残すところあと1か月となりました。懇談会の挨拶でも申し上げましたが、学校に子ども達の元気な姿が戻ってきた時の喜びと安堵は、忘れられません。学校再開後は、新しい生活様式での学校生活となりましたが、子ども達は、少しずつ日常を取り戻し、笑顔が増え、落ち着いて学校生活を送り、成長することができました。これも、保護者の皆様と地域の方々の温かいご理解とご協力によるものと職員一同感謝しております。ありがとうございました。

この一年を通して、普段通りに日常生活を送ることのありがたさや人と人が直接対話し、認め励まし合うなど、仲間とかかわり合いながら学ぶことのできる学校の大切さを改めて感じました。一方で、これから先も継続される感染防止対策により、新しい生活様式や価値観などが定着していくものと思われます。「不易流行」（いつまでも変化しない本質的なものを忘れない中にも、新しく変化を重ねているものをも取り入れていく）を念頭に学校運営を進めてまいります。

さて、先日、6年生の小学校最後の授業参観『～今までありがとう～ はばたきの会』が行われました。児童一人一人が、将来の夢や中学校に向けての決意に加えて、これまで支えてくれた家族への感謝の気持ちを伝えることができました。全体の前で堂々と話すことは、勇気のいることと思いますが、しっかりと思いを伝える姿が立派でした。そして、合唱「大切なもの」を披露してくれました。制限のある中で苦勞をしたと思いますが、6年生の優しく、きれいな歌声とピアノ伴奏が一体となり、体育館に響きました。これまで、子ども達の合唱を聞く機会がなかったので、感慨深いものがありました。また、幼い頃と現在の写真を使ったスライドショーは、成長を実感できる時間となりました。現在、6年生は、卒業記念として教室の表示板を作成してくれています。出来上がりがとても楽しみです。

また、1年生から5年生も卒業を祝う会に向けて、準備を進めています。学年ごとに、歌や呼びかけ、プレゼント作りなど、6年生に感謝の気持ちを伝えられるように取り組んでいます。当日は、5年生が6年生と対面し、リモートや映像を活用して行います。6年生からしっかりと伝統のバトンを受け取ってほしいと願っています。

★お知らせ

- ・GIGAスクール構想により、小中学生1人に1台のタブレットパソコンが配布されます。本校では、4月に児童のIDが来ますので、それからの活用を検討しています。なお、校内の通信ネットワークが整備されましたので、リモートによる6年生との会食やクラブ発表会を実施しました。HPの学校ブログで様子を見ることができます。
- ・過日、学校ボランティアでお世話になっている方々に、子ども達からの手紙を届けました。「ありがとう。これが励みになります。」「ありがたく読ませてもらいます。大切にします。」など温かい言葉をいただきました。

